

# 中学校部活動地域移行種目別打合わせ



令和5年7月4日・7日



## 留萌市教育委員会におけるこれまでの取組について

令和4年12月に留萌市部活動の在り方検討委員会より提言書が提出された後、留萌市教育委員会では、各競技種目における現況や地域移行に係る検討課題を見出すため、種目ごとに打合せ会議を開催しました。

➡ 開催期間 ●●● 令和5年2月3日～28日 計8回

➡ 対象種目 ●●● 野球、サッカー、バレー、バスケ、卓球、陸上、ソフトテニス、吹奏楽 8種目

※ 一部部活動及び既に移行が完了している種目は除く

➡ 参加者 ●●● 各校保護者代表、各校部活顧問、少年団関係者、スポーツ・文化関係団体、スポーツ協会、教育委員会



- ✓ 検討委員会及び教育委員会におけるこれまでの経過について説明
- ✓ 部活動の現況と地域移行に係る意見交換

## ✓ ヒアリングの結果について①



### 卓球

2月6日（月）実施

#### 卓球協会

- ・協会の会員については、全員仕事をしており、土日のみなら検討の余地があるが、平日は不可能。

#### 顧問

- ・通常業務の軽減等、体制が整わないと難しい。
- ・土日だけでも外部コーチが指導してくれると、子どもにとっても有益であると考える。
- ・部活動の合同化については、練習場所への異動手段が課題となる。
- ・学校別で競技を行っているからライバル意識をもって練習に打ち込んでいる。

#### 保護者

- ・民間への地域移行となると保護者の負担増（送迎や運営の負担）や外部コーチについて不安が残る。

## ✓ ヒアリングの結果について②

### ✓ 陸上競技

2月13日（月）実施

#### 陸上競技会

- ・ 土日の移行となれば、小学生の受け入れ人数について制限を掛けて行う方向で考えている。
- ・ 高校生にも協力してもらいながら、練習を実施できればと考える。

#### 顧問

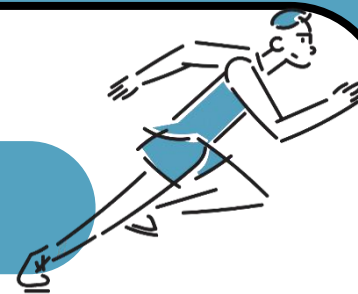
- ・ 現状、中学生は土曜日に浜中で練習を行っていることから、変更点は指導者が協会に代わることになる。
- ・ 小中高合同で練習を行い、上の子が下の子に教える仕組みは教育的価値が大きい。

#### 保護者

- ・ 生徒指導の側面から先生のほうが安心という気持ちもある。
- ・ 先生が大変なことを承知している上だが、先生に代わる外部指導者も仕事を持っているため、大変になるのは変わらない。



## 令和5年度における取組について



### ✓ 休日における地域移行

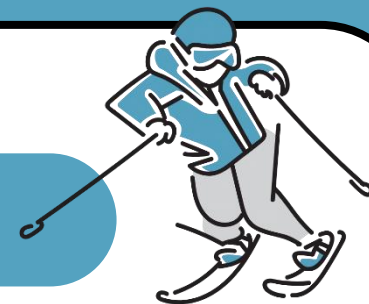
- ・ 種目別打合せ会議の結果、平日も含む地域移行については、大変困難であることから、休日の地域移行から着手していく。
- ・ 検討委員会からの提言の具現化とはならないが、国の方向性と合致させ、段階的な移行を推進していく。
- ・ 平日の部活指導については現状維持となるが、回数や時間について協議していく。
- ・ 平日の地域移行については、国の方針である令和5年度から7年度までの改革推進期間（3年間）に検討を重ねていく。

### ✓ 指導者の確保

- ・ 休日の指導者は、競技団体などから選考するとともに、教職員及び市職員等の兼職兼業の仕組みづくりについて検討。
- ・ 民間企業の地域貢献や北海道の人材バンク、公募により指導者の充実を推進していく。



## 令和5年度における取組について



### 地域移行の受け皿の選定

- ・ 留萌市における部活動の地域移行についてスムーズに進展させるための受け皿となる運営主体を選定していく。



### 留萌市地域移行推進計画の策定

- ・ 令和5年度から7年度までに平日における地域移行を推進するため、留萌市における推進計画を策定する。



### 顧問教職員の負担軽減策の検討

- ・ 平日における部活指導について、現状維持となってしまうことから、教職員への負担軽減に係る支援策について検討していく。

生徒や保護者の理解を得ながら段階的に推進していく